

養護盲老人ホーム

福寿園 monthly

平成 24 年 12 月 21 日 (金) 発行 第 023 号

入所者 1 泊旅行～静岡～

10 月 16 日、17 日に毎年恒例となりました、入所者 1 泊旅行へ出掛けてきました。入所者 12 名、職員 6 名の総勢 18 名で観光バスに乗り、最初に目指したのは静岡県の大井川鐵道です。新金谷駅より SL に乗り込み、千頭駅までの約 80 分の鉄道の旅では、車掌さんとのふれあいや「大井川ふるさと弁当」を満喫し、まるで昭和時代へのタイムスリップしたような車内では、懐かしさに包まれ、皆さん昔を思い出していらっやいました。夜は焼津グランドホテルに泊まり、温泉を楽しんだ後には、夕食の宴会でカラオケやビンゴ大会と大いに盛り上がりました。



そして、たくさんの素敵な思い出とともに、両手いっぱいのお土産を抱え、皆さん元気に帰園されました。

長距離の移動となるため、気力・体力も必要とされる 1 泊旅行ですが、毎年この旅行への参加は入所者の皆さんにとって、「また 1 年、元気でいよう!!」という励みになっています。今回も帰園された皆さんからは、「あ～、楽しかったね～。来年の旅行も楽しみだね。いつまでも自分の足で歩けるように、元気でいなきゃね。」という嬉しい声が聴こえてきました。健康は宝ですね。



施設長のコラム

11 月はイベントの多いシーズンで、福祉関連の催しも各地で行われているのを目にしました。田原市におきましては、11 日(日)に田原市社会福祉協議会が主催する「福祉のつどい」が開催されました。今年の講演者は立木早絵さん。2011 年にキリマンジャロに登頂した視覚障がい者の女性ということで、日テレの 24 時間テレビで紹介されたのでご存じの方も多と思います。福寿園でも彼女の話を知りたいという希望者がたくさんおり、入所者と一緒に講演と弾き語りのステージを聞きに出かけました。

彼女は、19 歳でありながら、しっかりとした考えを持ち、非常に前向きでした。立木さんが講演中に何度も口にしたのは、周囲への感謝。「いろんな出会いを大切に、感謝の気持ちを忘れず 1 歩ずつ進んでいきたい。」障がいを「ふつう」と捉え、語る彼女の言葉は、強いだけではない、しなやかさを感じました。



施設長 林 美恵子

養護食堂ホールにて

【養護老人ホーム福寿園☆あんなこと、こんなこと】⑥

～「入浴」について～

養護老人ホームは法律で週2回以上の入浴を行うよう定められていますが、福寿園では午後の時間帯（pm12:00～夕食前まで）に週4回（月・水・金・土）設定されています。順番は男女別に棟で分け、週毎に変わります。火曜日には夜の入浴（pm6:30～pm8:00）が行われ、就寝前にゆっくり身体を温めて休まれます。入浴は心身のリフレッシュとなり、入所者のみなさんにとって生活の楽しみとなっています。最近では、BGMや入浴剤でリフレッシュ効果を高める工夫や、待合所での足湯やマッサージ機の導入、また職員の接遇改善など、入所者の皆さんに入浴をもっと楽しんでいただけるよう様々な取り組みを行っています。

これからも入所者のみなさんの笑顔がたくさん見られるような入浴時間の提供をしていきたいと思えます。



QC活動「地震発生時に自分の身の安全を確保しよう」（4）

前号では、大地震を想定した避難訓練を行ったところ自分の身を自分で守る行動に移れた方は1割にも満たなかったこと、実際にどう行動してよいかの判断を自分で行うことが出来ない方が大半を占めていたという結果をお伝えしました。

危険な行動を取った人は地震発生直後では88%（49人/43人）余震に備える時間帯では84%（49人/41人）避難指示が出てからは43%（49人/21人）という数字が物語るように、職員の避難指示が出るまでの行動に大きな不安が残る結果となりました。

ではなぜ入所者の皆さんは身の安全を確保できなかったのでしょうか。次にその要因の洗い出しを行いました。すると①入所者の多くが大地震を体験したことがない②防災グッズが居室に準備されていない③職員と入所者双方に地震への知識や防災への啓発が足りていない、という3つの要因が浮かび上がってきました。

こうして苦労して見つけ出した3つの要因に対して最適な方法・方策を導き出すためさらに職員で知恵を絞ることにしました。

①の対策については、田原市に配備されている起震車で体験して頂くことも考えたのですが、対象者の多くが高齢で視覚障害を抱えていることを考えると見合わせた方が賢明と判断し、今回は地震によってものが散乱した居室内を実際に歩いてもらうことで模擬体験をしていただきました。今回の避難訓練でも自己判断で避難をした入所者もあり、勝手にわかる環境が地震によって一変することを覚えていただき、視覚障害を抱えながら安全に避難することのむずかしさを伝える上でとても効果的な体験となりました。

次号ではさらに②と③の対策についてお伝えしようと思えます。



生活相談員より

ショートステイの受け入れも随時行っております。

現在欠員が1名あります。入所相談等ありましたら、

ぜひご連絡下さい。よろしくお願い致します。

平成24年12月21日（金）現在

定員 80名 現在入所者 79名

ショートステイ 定員4名 現在入所 2名

担当者/主任生活相談員 山森達也 主任支援員 山田竜太

〒441-3413

愛知県田原市六連町神/釜9-3

TEL 0531-27-0008

FAX 0531-27-0828

URL <http://www.fukujuen.or.jp>

E-mail honbu@fukujuen.or.jp

ブログも随時
更新中！！
是非
ご覧下さい

